

## 運用報告書(全体版)

### ワールド・ソブリンインカム (1年決算型) (愛称 十二単衣 (1年決算型))

【2025年9月25日決算】

#### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。  
皆様の「ワールド・ソブリンインカム (1年決算型)  
(愛称 十二単衣 (1年決算型))」は、2025年9月25  
日に第17期決算を迎えたので、期中の運用状況な  
らびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申  
し上げます。

**SBI岡三アセットマネジメント**

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1  
ホームページ <https://www.sbiokasan-am.co.jp>

■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

03-3516-1300 (受付時間：営業日の9:00～17:00)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2008年10月15日から、原則として無期限です。	
運用方針	ワールド・ソブリンインカム マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）を通じて、日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。原則として、外貨建資産の為替ヘッジは行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）を主要投資対象とします。
主な投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年9月25日（休業日の場合は翌営業日）に 決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、 収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収入等の全額とします。 繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収入等には、マザーファンドの利子・配当収入等のうち、投資信託財産に帰属すべき利子・配当収入等を含むものとします。（ファンドの分配対象収益の範囲には、売買益（評価益を含みます。）を含みません。）分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案し、決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額				FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース) (ベンチマーク)	債組入比率	債券先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配分	みなし金	期騰落率				
13期(2021年9月27日)	円 12,234	円 100	% 1.4	ポイント 459.14	% 2.9	% 88.0	% —	百万円 497
14期(2022年9月26日)	11,855	100	△2.3	460.49	0.3	90.5	—	418
15期(2023年9月25日)	12,081	100	2.7	482.68	4.8	91.4	—	410
16期(2024年9月25日)	12,834	100	7.1	515.76	6.9	97.5	—	375
17期(2025年9月25日)	13,293	100	4.4	540.55	4.8	96.4	—	266

(注) 基準価額および分配金（税引前）は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金（税引前）込み。

(注) FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）は、当該日前営業日の指数值を使用しております。（以下同じ。）

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

ワールド・ソブリンインカム（1年決算型）（愛称 十二単衣（1年決算型））（以下、「当ファンド」といいます。）の開発は、S B I 岡三アセットマネジメント株式会社のみにより行われています。London Stock Exchange Group plcおよびそのグループ会社（以下、総称して「LSEグループ」といいます。）は、いかなる形においても、当ファンドとの関係を有さず、またスポンサー、保証、販売もしくは販売促進を行うものではありません。FTSE Russellは、特定のLSEグループ会社の取引名です。FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）（以下、「本指数」といいます。）にかかるすべての権利は、指数を保有する該当LSEグループ会社に帰属します。「FTSE®」は、該当のLSEグループ会社の商標であり、ライセンス契約に基づき、他のあらゆるLSEグループ会社が使用します。本指数は、FTSE International Limited, FTSE Fixed Income, LLCまたはその関連会社、代理人もしくはパートナーによって、またはこれらからの委託を受けて算出されています。LSEグループは、(a) 本指数の使用、本指数への依拠もしくは本指数の誤り、または(b) 当ファンドへの投資もしくはその運用から生じる、いかなるものに対する責任も負うものではありません。LSEグループは、当ファンドから得られる結果、またはS B I 岡三アセットマネジメント株式会社による提供の目的に対する本指数の適切性のいずれについても、主張、予想、保証、表明を行わないものとします。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

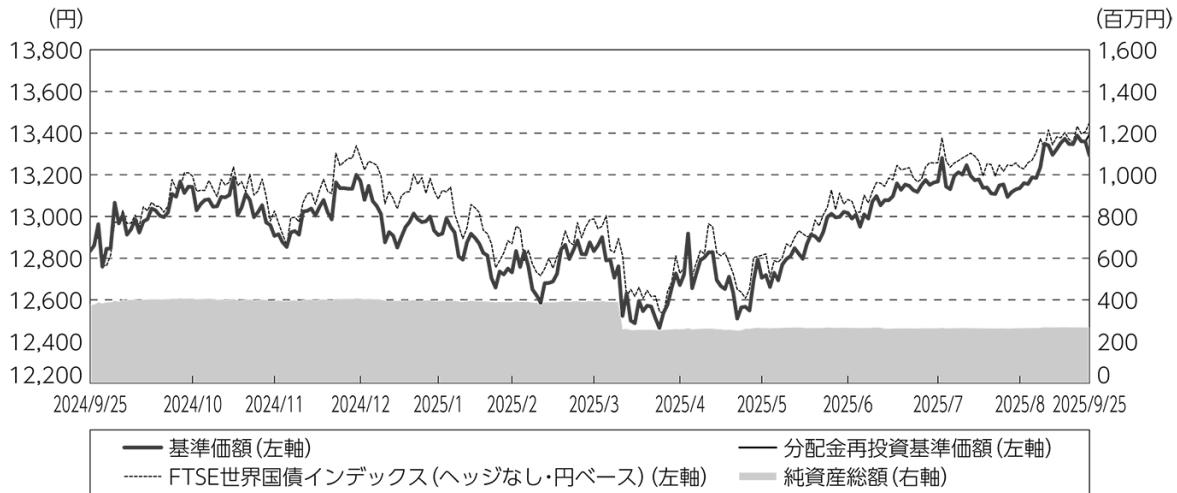
年 月 日	基 準 価 額	FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース) (ベンチマーク)		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
		騰	落				
(期 首) 2024年9月25日	円 12,834	% —	ボイント 515.76	% —	% 97.5		% —
9月末	12,759	△0.6	513.16	△0.5	97.5		—
10月末	13,142	2.4	530.22	2.8	91.3		—
11月末	12,907	0.6	523.50	1.5	93.3		—
12月末	13,170	2.6	533.81	3.5	96.0		—
2025年1月末	12,911	0.6	525.79	1.9	88.3		—
2月末	12,732	△0.8	517.18	0.3	94.0		—
3月末	12,834	0.0	521.97	1.2	96.7		—
4月末	12,671	△1.3	511.43	△0.8	95.6		—
5月末	12,706	△1.0	514.96	△0.2	96.3		—
6月末	13,017	1.4	525.70	1.9	94.6		—
7月末	13,168	2.6	532.79	3.3	96.4		—
8月末	13,136	2.4	531.90	3.1	95.1		—
(期 末) 2025年9月25日	13,393	4.4	540.55	4.8	96.4		—

(注) 期末基準価額は1万口当たり分配金（税引前）込み、騰落率は期首比。

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2024年9月26日～2025年9月25日)



期 首 : 12,834円

期 末 : 13,293円 (既払分配金(税引前) : 100円)

騰落率 : 4.4% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) ベンチマークは、FTSE World Government Bond Index (Hedgedなし・円ベース) です。

(注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首（2024年9月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

## (主なプラス要因)

- 先進国の国債に分散投資することにより、安定的な利息収入を確保したこと。
- ユーロ、米ドル、イギリスピンドルが対円で上昇したこと。また、オーストラリアドルは対円で小幅に下落したものの、投資比率変更のタイミングが奏功しプラスとなりました。

## (主なマイナス要因)

- すべての投資国の長期債利回りが上昇し、保有債券の価格が下落したこと。ただし、多くの国で短期債利回りが低下した影響もあり、利息収入を含む債券要因全体でマイナスとなったのは、イギリスと日本の2ヵ国に留まりました。

**投資環境**

(2024年9月26日～2025年9月25日)

**<投資国の債券市場>**

海外の債券市場では、米国大統領選挙におけるトランプ氏勝利が米国の景気およびインフレを押し上げるとの見方が強まり、米国債主導で各国の中長期債利回りが上昇（価格は下落）して始まりました。その後も、ドイツの財政拡張路線への転換など、各国の財政リスクや国債増発が意識されたことから、長期債利回りに上昇圧力が掛かる局面が見られました。ただし、米国債については、利下げ再開を織り込む動きが広がり、期末にかけて長期債利回りの上昇幅は縮小しました。一方、各国の中央銀行による利下げを受け、短期債利回りは総じて低下（価格は上昇）しました。国内債券市場では、利上げ実施や国債需給の悪化懸念などを背景に、超長期債を中心に利回りが上昇しました。

**<為替市場>**

為替市場では、トランプ氏勝利が米国の景気およびインフレを押し上げ、米ドル上昇につながるとの見方から、米ドルは円を含む主要通貨に対して上昇して始まりました。しかし、トランプ大統領就任後は通商政策での強硬姿勢が意識され、米ドル安懸念が強まつたことから、2025年4月には米ドル／円が一時140円を割り込むなど、対米ドルを中心に円高が進行しました。その後は、政権の強硬姿勢が徐々に和らぎ、世界的な株高を背景に投資家のリスク選好が強まつたことを受けて、円が主要通貨に対して軟調に推移しました。この結果、当期間においては、ユーロ、イギリスポンド、米ドルが対円で上昇しました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2024年9月26日～2025年9月25日)

**<ワールド・ソブリンインカム（1年決算型）（愛称 十二単衣（1年決算型））>**

「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、同受益証券の組入比率を概ね99%台と高位で推移させました。

**○ワールド・ソブリンインカム マザーファンド**

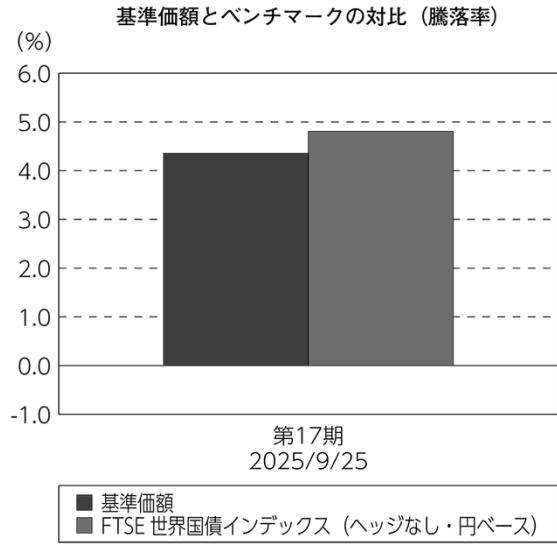
8カ国的主要先進国の国債に分散投資するとともに、各国の景気動向、各中央銀行の金融政策スタンス、相場動向等に留意し、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーション\*を変化させました。デュレーションは、6.14年～7.72年の範囲内での推移となり、期末は6.27年となりました。また、6通貨に分散投資し、相場動向に対応し各通貨の投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当期においては、米ドルとユーロを中心のポートフォリオを維持し、外貨建資産の投資比率は84.5%～95.9%の範囲内での推移となりました。円高リスクが懸念される場面では、外貨建資産の投資比率を引き下げる対応を行いました。当期間における各通貨の平均投資比率は、ベンチマークと比較し、オーストラリアドル、カナダドル、ユーロ、イギリスポンドは高め、円、米ドルは低めとなりました。一方、中国人民元、メキシコペソなどは、ベンチマークの構成通貨となっていますが、当ファンドでは投資しておりません。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、為替ヘッジは行いませんでした。

\*デュレーション：金利変動に伴う債券価格の変動性を示す指標として用いられ、一般的にこの値が大きい程、金利変動に伴う債券価格の変動リスクが大きくなります。また、対象債券のクーポンが同じであれば、残存期間が長いほどデュレーションは長くなります。デュレーションは保有債券の平均残存年数とは異なり、利付債券の場合、平均残存年数よりも短く表記されます。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2024年9月26日～2025年9月25日)

分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率を0.5%下回りました。債券要因は、日本国債に対し慎重姿勢を維持したことがプラスとなりました。為替要因は、ベンチマークと比較しカナダドルの投資比率を高めに維持したことがマイナスとなりましたが、オーストラリアドルや米ドルの投資比率変更のタイミングが奏功し、為替要因全体では小幅なプラスとなりました。一方、信託報酬等のコストがマイナスとなりました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）です。

**分配金**

(2024年9月26日～2025年9月25日)

当期の分配金につきましては、分配方針に則り、分配可能額、基準価額水準等を勘案して、以下のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかつた留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行います。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第17期
	2024年9月26日～ 2025年9月25日
当期分配金	100
(対基準価額比率)	0.747%
当期の収益	100
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,828

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

**今後の運用方針****(投資環境の見通し)**

今後の世界経済は、トランプ関税の影響が徐々に顕在化することにより、やや減速基調を強める可能性があると見ています。しかし、米連邦準備制度理事会（F R B）による段階的な利下げは概ね市場に織り込まれていることや、日銀を除く多くの中央銀行が利下げに慎重なスタンスに転換しつつあることから、海外の債券市場は現状水準を中心に方向感を探る局面が続く可能性が高いと判断しています。国内債券市場については、インフレ率の高止まりなどと日銀による追加利上げを背景に、緩やかな利回りの上昇が続くと見えています。

為替市場では、日米の金融政策スタンスの違いを背景に、対米ドル中心に円高圧力が強まる場面もあると見ています。しかし、日銀が利上げに踏み切ったとしても、政策金利がインフレ率を大幅に下回る状況が続くと予想されます。また、日本の消費者や企業が海外のデジタルサービスを利用することで生じるデジタル赤字の拡大など、構造的な円売り圧力も根強く存在することから、円高余地は限定的と判断しています。

**(運用方針)****<ワールド・ソブリンインカム（1年決算型）（愛称 十二単衣（1年決算型））>**

主要投資対象である「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の受益証券の組入比率は99%台の高位を維持する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては組入比率が高位にならない場合があります。

**○ワールド・ソブリンインカム マザーファンド**

世界経済の構造的な変化や国際情勢の動向、各国の景気動向や物価動向、各中央銀行の金融政策スタンス等に留意するとともに、金融市場間の資金の流れを分析することにより、国別・通貨別配分やデュレーションを決定していく方針です。これにより、ポートフォリオの為替変動リスクと金利変動リスクのコントロールを図ってまいります。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、原則として為替ヘッジは行わない方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2024年9月26日～2025年9月25日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 149	% 1.155	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(43)	(0.330)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(100)	(0.770)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後のお問い合わせ等の対価
(受託会社)	(7)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他の費用	2	0.016	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他の)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	151	1.171	
期中の平均基準価額は、12,929円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

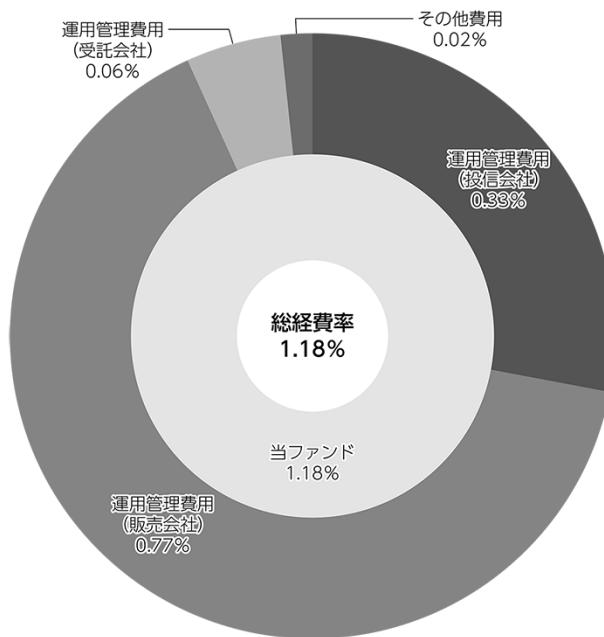
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.18%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2024年9月26日～2025年9月25日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定期		解約	
	口数	金額	口数	金額
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	千口 13,067	千円 30,861	千口 65,638	千円 154,625

(注) 単位未満は切捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2024年9月26日～2025年9月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2025年9月25日現在)

## 親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)		当期末	
	口数	口数	評価額	千円
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	千口 159,318	千口 106,747	264,765	千円 264,765

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2025年9月25日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	千円 264,765	% 98.2
コール・ローン等、その他	4,907	1.8
投資信託財産総額	269,672	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) ワールド・ソブリンインカム マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（41,612,634千円）の投資信託財産総額（43,971,126千円）に対する比率は94.6%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので。なお、邦貨換算レートは1米ドル=148.77円、1カナダドル=107.07円、1ユーロ=174.69円、1イギリスポンド=200.13円、1オーストラリアドル=98.04円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年9月25日現在）

項目	当期末
(A) 資産	円
コレル・ローン等	269,672,910
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド(評価額)	4,906,916
未収利息	264,765,945
未収利息	49
(B) 負債	3,602,208
未払収益分配金	2,001,536
未払解約金	1,242
未払信託報酬	1,591,913
その他未払費用	7,517
(C) 純資産総額(A-B)	266,070,702
元本	200,153,648
次期繰越損益金	65,917,054
(D) 受益権総口数	200,153,648口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,293円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,3293円です。  
 (注) 当ファンドの期首元本額は292,933,987円、期中追加設定元本額は30,674,361円、期中一部解約元本額は123,454,700円です。

## ○損益の状況（2024年9月26日～2025年9月25日）

項目	当期
(A) 配当等収益	円 10,667
受取利息	10,667
(B) 有価証券売買損益	15,052,810
売買益	14,560,274
売買損	492,536
(C) 信託報酬等	△ 3,884,756
(D) 当期損益金(A+B+C)	11,178,721
(E) 前期繰越損益金	13,442,187
(F) 追加信託差損益金	43,297,682
(配当等相当額)	( 81,297,388)
(売買損益相当額)	(△37,999,706)
(G) 計(D+E+F)	67,918,590
(H) 収益分配金	△ 2,001,536
次期繰越損益金(G+H)	65,917,054
追加信託差損益金	43,297,682
(配当等相当額)	( 81,371,939)
(売買損益相当額)	(△38,074,257)
分配準備積立金	22,619,372

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) 収益分配金

決算期	第17期
(a) 配当等収益(費用控除後)	6,534,689円
(b) 収益調整金中のその他収益調整金	81,371,939円
(c) 分配準備積立金中の配当等収益	10,743,352円
分配対象収益(a+b+c)	98,649,980円
分配対象収益(1万口当たり)	4,928円
分配金額	2,001,536円
分配金額(1万口当たり)	100円

## ○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	100円
支払開始日	2025年10月1日(水)までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

## &lt;お知らせ&gt;

・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款の記載変更を行いました。（実施日：2025年4月1日）  
 2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

## ○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

(2025年9月25日現在)

## &lt;ワールド・ソブリンインカム マザーファンド&gt;

下記は、ワールド・ソブリンインカム マザーファンド全体(17,691,642千口)の内容です。

## 国内公社債

## (A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
			%	%	5年以上	2年以上	2年末満
国債証券	千円 1,500,000	千円 1,433,765	% 3.3	% —	% 3.3	% —	% —
合計	1,500,000	1,433,765	3.3	—	3.3	—	—

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当期末			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	%	千円	千円	
第364回利付国債（10年）	0.1	500,000	465,265	2031/9/20
第379回利付国債（10年）	1.5	500,000	493,915	2035/6/20
第87回利付国債（30年）	2.8	500,000	474,585	2055/6/20
合計		1,500,000	1,433,765	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 114,000	千米ドル 111,931	千円 16,652,070	% 37.9	% —	% 18.0	% 9.1	% 10.9
カナダ	千カナダドル 37,000	千カナダドル 36,633	千円 3,922,398	8.9	—	7.0	—	2.0
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	28,000	27,139	4,741,046	10.8	—	10.8	—	—
イタリア	27,000	28,617	4,999,157	11.4	—	11.4	—	—
フランス	18,000	17,140	2,994,261	6.8	—	1.6	2.4	2.8
イギリス	千イギリスポンド 15,000	千イギリスポンド 13,423	千円 2,686,411	6.1	—	4.8	—	1.4
オーストラリア	千オーストラリアドル 54,000	千オーストラリアドル 51,628	千円 5,061,615	11.5	—	5.5	6.1	—
合計	—	—	41,056,960	93.6	—	59.0	17.5	17.0

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	利 率	額面金額	当 期 末			償還年月日
			評 価 額	外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ	%	千米ドル	千米ドル	千円		
国債証券	US TREASURY N/B 2.25 US TREASURY N/B 3.5 US TREASURY N/B 3.625 US TREASURY N/B 4 US TREASURY N/B 4.25 US TREASURY N/B 4.375 US TREASURY N/B 4.625 US TREASURY N/B 4.75 US TREASURY N/B 6.25	2.25 3.5 3.625 4.0 4.25 4.375 4.625 4.75 6.25	16,000 20,000 10,000 12,000 10,000 6,000 7,000 18,000 15,000	11,832 19,958 9,891 12,045 10,204 6,143 7,278 17,988 16,587	1,760,321 2,969,239 1,471,544 1,792,004 1,518,151 913,959 1,082,882 2,676,186 2,467,780	2041/5/15 2026/9/30 2031/9/30 2027/1/15 2029/6/30 2034/5/15 2035/2/15 2055/5/15 2030/5/15
小計					16,652,070	
カナダ		千カナダドル	千カナダドル			
国債証券	CANADA-GOV'T 2 CANADA-GOV'T 2.75 CANADA-GOV'T 3	2.0 2.75 3.0	3,000 8,000 26,000	2,830 8,036 25,767	303,080 860,440 2,758,876	2032/6/1 2027/5/1 2034/6/1
小計					3,922,398	
ヨーロ		千ユーロ	千ユーロ			
ドイツ	国債証券	DEUTSCHLAND REP 2.3 DEUTSCHLAND REP 2.5 DEUTSCHLAND REP 2.5	2.3 2.5 2.5	15,000 10,000 3,000	14,763 9,830 2,545	2,578,974 1,717,324 444,746
イタリア	国債証券	BTPS 3.45 BTPS 4.4	3.45 4.4	10,000 17,000	10,261 18,355	1,792,651 3,206,506
フランス	国債証券	FRANCE O.A.T. 1.5 FRANCE O.A.T. 2.5 FRANCE O.A.T. 2.75 FRANCE O.A.T. 3	1.5 2.5 2.75 3.0	2,000 7,000 6,000 3,000	1,158 7,029 6,054 2,897	202,385 1,227,941 1,057,688 506,246
小計					12,734,466	
イギリス		千イギリスポンド	千イギリスポンド			
国債証券	UK TSY GILT 3.25 UK TSY GILT 3.5 UK TSY GILT 3.75	3.25 3.5 3.75	8,000 3,000 4,000	7,417 2,998 3,007	1,484,548 600,071 601,790	2033/1/31 2025/10/22 2053/10/22
小計					2,686,411	
オーストラリア		千オーストラリアドル	千オーストラリアドル			
国債証券	AUSTRALIAN GOVT. 2.75 AUSTRALIAN GOVT. 3.5	2.75 3.5	28,000 26,000	27,079 24,548	2,654,887 2,406,727	2029/11/21 2034/12/21
小合	計				5,061,615	
	合				41,056,960	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものであります。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

**ワールド・ソブリンインカム マザーファンド**  
**第23期 運用状況のご報告**  
**決算日：2025年3月25日**

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債券組入比率	債券先物比率	純資産額
		期騰落率	中率(ベンチマーク)			
19期(2021年3月25日)	円 20,744	% 3.1	ポイント 452.56	% 2.5	89.9	% 84,082
20期(2022年3月25日)	21,164	2.0	461.28	1.9	90.7	69,040
21期(2023年3月27日)	20,501	△ 3.1	450.91	△ 2.2	87.7	53,865
22期(2024年3月25日)	23,302	13.7	515.05	14.2	92.1	52,236
23期(2025年3月25日)	23,718	1.8	521.24	1.2	97.3	46,419

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）は、当該日前営業日の指数值を使用しております。（以下同じ。）

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

ワールド・ソブリンインカム マザーファンド（以下、「当ファンド」といいます。）の開発は、SBI岡三アセットマネジメント株式会社のみにより行われています。London Stock Exchange Group plcおよびそのグループ会社（以下、総称して「LSEグループ」といいます。）は、いかなる形においても、当ファンドとの関係を有さず、またスポンサー、保証、販売もしくは販売促進を行うものではありません。FTSE Russellは、特定のLSEグループ会社の取引名です。

FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）（以下、「本指数」といいます。）にかかるすべての権利は、指数を保有する該当LSEグループ会社に帰属します。「FTSE®」は、該当するLSEグループ会社の商標であり、ライセンス契約に基づき、他のあらゆるLSEグループ会社が使用します。

本指数は、FTSE International Limited、FTSE Fixed Income, LLCまたはその関連会社、代理人もしくはパートナーによって、またはこれらからの委託を受けて算出されています。LSEグループは、(a) 本指数の使用、本指数への依拠もしくは本指数の誤り、または(b) 当ファンドへの投資もしくはその運用から生じる、いかなるものに対する責任も負うものではありません。LSEグループは、当ファンドから得られる結果、またはSBI岡三アセットマネジメント株式会社による提供の目的に対する本指数の適切性のいずれについても、主張、予想、保証、表明を行わないものとします。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

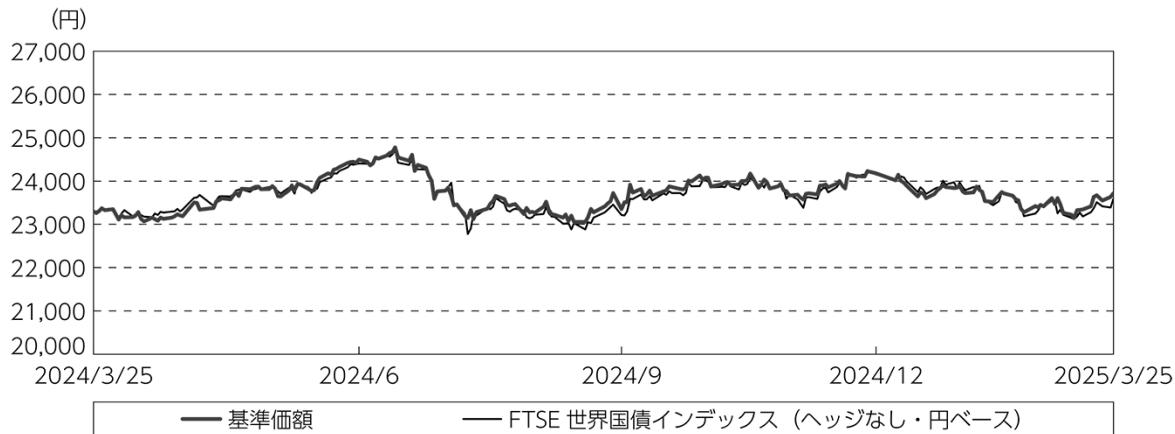
年 月 日	基 準 価 額	FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース) (ベンチマーク)		債 組 入 率	債 券 先 物 比 率	券 率
		騰	落			
(期 首) 2024年3月25日	円 23,302	% —	ボイント 515.05	% —	% 92.1	% —
3月末	23,326	0.1	515.61	0.1	94.3	—
4月末	23,507	0.9	521.86	1.3	90.1	—
5月末	23,645	1.5	524.04	1.7	91.6	—
6月末	24,498	5.1	539.51	4.7	90.5	—
7月末	23,659	1.5	529.58	2.8	92.0	—
8月末	23,264	△0.2	513.27	△0.3	97.6	—
9月末	23,348	0.2	513.16	△0.4	98.2	—
10月末	24,080	3.3	530.22	2.9	91.7	—
11月末	23,668	1.6	523.50	1.6	94.0	—
12月末	24,179	3.8	533.81	3.6	96.5	—
2025年1月末	23,724	1.8	525.79	2.1	88.7	—
2月末	23,415	0.5	517.18	0.4	94.5	—
(期 末) 2025年3月25日	23,718	1.8	521.24	1.2	97.3	—

(注) 謄落率は期首比。

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2024年3月26日～2025年3月25日)



(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）です。

(注) ベンチマークは、期首（2024年3月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

## (主なプラス要因)

- 海外の国債に投資することにより安定的な利息収入を確保したことに加え、保有していたイタリア国債、カナダ国債、一部の米国債の利回りが低下し、価格が上昇したこと。

## (主なマイナス要因)

- カナダドルが対円で下落したこと。

**投資環境**

(2024年3月26日～2025年3月25日)

**＜投資国の債券市場＞**

海外の債券市場では、各中央銀行が金融緩和を実施したことを受け、短期債利回りが低下（価格は上昇）しました。特に、利下げ幅が最も大きかったカナダの短期債利回りの低下が顕著となりました。一方、長期債に関しては、カナダでは低下したものの、米国大統領選挙でのトランプ氏勝利、ドイツの財政拡張路線への転換や欧州連合（EU）の「再軍備計画」の発表などを背景に、他の投資国では利回りが上昇（価格は下落）しました。国内債券市場では、日銀が段階的に利上げを実施したことを見て、短期債、長期債ともに利回り上昇が鮮明となりました。

**＜為替市場＞**

為替市場では、米連邦準備制度理事会（F R B）や欧州中央銀行（E C B）などの海外の主要中央銀行と日銀の金融政策を睨んで、円が投資通貨に対し大きく上下する展開となりました。特に、米ドルに対しては、期初の151円台から2024年7月上旬に162円近辺まで円安が進行した後、9月中旬には一時140円割れまで円高が進行するなど激しい値動きとなる場面が見られました。当期においては、イギリスポンドが対円で上昇する一方、カナダドルとオーストラリアドルが対円で下落しました。米ドルとユーロは対円で小幅な下落となりました。

**当ファンドのポートフォリオ**

(2024年3月26日～2025年3月25日)

8カ国的主要先進国の国債に分散投資するとともに、各国の景気動向、各中央銀行の金融政策スタンス、相場動向等に留意し、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーション\*を変化させました。デュレーションは、6.53年～7.52年の範囲内での推移となり、期末は6.83年となりました。また、6通貨に分散投資し、相場動向に対応し各通貨の投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当期においては、米ドルとユーロを中心のポートフォリオを維持し、外貨建資産の投資比率は84.9%～95.9%の範囲内での推移となりました。円高リスクが懸念される場面では、外貨の投資比率を引き下げる対応を行いました。当期における各通貨の平均投資比率は、ベンチマークと比較し、オーストラリアドル、イギリスポンド、カナダドル、ユーロは高め、米ドルは同程度、円は低めとなりました。一方、中国人民元、メキシコペソなどは、ベンチマークの構成通貨となっていますが、当ファンドでは投資しておりません。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、為替ヘッジは行いませんでした。

\*デュレーション：金利変動に伴う債券価格の変動性を示す指標として用いられ、一般的にこの値が大きい程、金利変動に伴う債券価格の変動リスクが大きくなります。また、対象債券のクーポンが同じであれば、残存期間が長いほどデュレーションは長くなります。デュレーションは保有債券の平均残存年数とは異なり、利付債券の場合、平均残存年数よりも短く表記されます。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

(2024年3月26日～2025年3月25日)

当ファンドの基準価額の騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率を0.6%上回りました。投資環境の変化に対応し、国別のデュレーションを機動的に変化させたことなどがプラスとなりました。

**今後の運用方針****(投資環境の見通し)**

米国では、ペッセンティ財務長官が10年国債利回りの低下を目指す姿勢を鮮明にしていることに加え、トランプ政権の関税政策に関する強硬姿勢が消費者や企業のセンチメント悪化につながっていることから、債券利回りが低下しやすい環境にあると見えています。一方、欧州ではドイツの財政拡張路線への転換やEUの「再軍備計画」の発表を受けて、債券利回り上昇への警戒感が強まっています。しかし、米国との貿易摩擦への懸念が強いなかで、景気回復の実体が確認されていない現状を踏まえると、持続的な利回り上昇の可能性は低いと判断しており、当面は現状近辺でのもみ合いが続くと想定しています。国内の債券市場に関しては、インフレ率の高止まりなどを背景に追加利上げが視野に入っており、利回りの上昇余地を試す場面があると見えています。

為替市場では、各国・地域の金利動向や米国の関税政策を巡る動き、投資家のリスク志向の変化などが影響し、やや不安定な相場展開が続く可能性があると考えています。一方で、今後の日銀の利上げペースが非常に緩やかなものにとどまる予想されることから、日本ではインフレ率と政策金利の差である実質政策金利が依然として大幅なマイナスが続く見通しです。また、日本の消費者や企業が海外のデジタルサービスを利用することで生じるデジタル赤字の拡大など、構造的な円売り圧力も根強く存在することから、円高余地は限定的と判断しています。

**(運用方針)**

世界経済の構造的な変化や国際情勢の動向、各国の景気動向や物価動向、各中央銀行の金融政策スタンス等に留意するとともに、金融市場間の資金の流れを分析することにより、国別・通貨別配分やデュレーションを決定していく方針です。これにより、ポートフォリオの為替変動リスクと金利変動リスクのコントロールを図ってまいります。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、原則として為替ヘッジは行わない方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2024年3月26日～2025年3月25日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他の費用	円 3	% 0.011	(a) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	(3)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( そ の 他 )	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	3	0.011	
期中の平均基準価額は、23,692円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

## ○売買及び取引の状況

(2024年3月26日～2025年3月25日)

## 公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 3,945,990	千円 3,415,475
外 国	アメリカ カナダ ヨーロ ドイツ イタリア フランス イギリス オーストラリア	千米ドル 206,657 千カナダドル 37,959 千ユーロ 25,201 29,556 35,166 千イギリスポンド 4,706 千オーストラリアドル 88,553	千米ドル 212,758 ( 11,000) 千カナダドル 18,980 千ユーロ 38,551 4,066 53,035 千イギリスポンド 5,778 千オーストラリアドル 97,498

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ( )内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2024年3月26日～2025年3月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2025年3月25日現在)

## 国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当期末						残存期間別組入比率 5年以上 2年以上 2年未満
	額面金額	評価額	組入比率	うちB格以下組入比率			
				% 3.1 (2.1)			
国債証券	千円 1,500,000 (1,000,000)	千円 1,436,315 ( 971,940)	% 3.1 (2.1)	% — (—)	% 1.0 (—)	% 2.1 (2.1)	% — (—)
合計	1,500,000 (1,000,000)	1,436,315 ( 971,940)	3.1 (2.1)	— (—)	1.0 (—)	2.1 (2.1)	— (—)

(注) ( ) 内は非上場債券で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当期末			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	%	千円	千円	
第351回利付国債（10年）	0.1	1,000,000	971,940	2028/6/20
第364回利付国債（10年）	0.1	500,000	464,375	2031/9/20
合計		1,500,000	1,436,315	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 135,000	千米ドル 130,960	千円 19,768,518	% 42.6	% —	% 29.6	% 3.3	% 9.8
カナダ	千カナダドル 34,000	千カナダドル 33,123	千円 3,491,216	7.5	—	3.4	—	4.1
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	27,000	25,250	4,117,563	8.9	—	8.9	—	—
イタリア	33,000	34,286	5,591,109	12.0	—	9.9	2.2	—
フランス	27,000	24,922	4,064,177	8.8	—	3.1	3.2	2.5
イギリス	千イギリスポンド 19,000	千イギリスポンド 16,468	千円 3,210,994	6.9	—	5.7	—	1.3
オーストラリア	千オーストラリアドル 40,000	千オーストラリアドル 36,800	千円 3,490,848	7.5	—	7.5	—	—
合計	—	—	43,734,427	94.2	—	68.0	8.6	17.6

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末				償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額	外貨建金額 邦貨換算金額	
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円	
国債証券	US TREASURY N/B 2.25	2.25	16,000	11,692	1,764,982	2041/5/15
	US TREASURY N/B 3.625	3.625	10,000	9,671	1,459,969	2031/9/30
	US TREASURY N/B 3.875	3.875	17,000	16,407	2,476,735	2034/8/15
	US TREASURY N/B 4	4.0	12,000	11,985	1,809,277	2027/1/15
	US TREASURY N/B 4.125	4.125	18,000	18,028	2,721,345	2027/2/28
	US TREASURY N/B 4.25	4.25	10,000	10,060	1,518,698	2029/6/30
	US TREASURY N/B 4.375	4.375	22,000	22,085	3,333,872	2034/5/15
	US TREASURY N/B 4.5	4.5	15,000	14,582	2,201,275	2054/11/15
	US TREASURY N/B 6.25	6.25	15,000	16,444	2,482,360	2030/5/15
小 計					19,768,518	
カナダ			千カナダドル	千カナダドル		
国債証券	CANADA-GOV'T 2	2.0	3,000	2,822	297,493	2032/6/1
	CANADA-GOV'T 2	2.0	3,000	2,308	243,328	2051/12/1
	CANADA-GOV'T 3	3.0	10,000	9,971	1,050,975	2034/6/1
	CANADA-GOV'T 3.75	3.75	18,000	18,021	1,899,419	2025/5/1
小 計					3,491,216	
ヨーロ			千ユーロ	千ユーロ		
ドイツ	国債証券	DEUTSCHLAND REP 2.3	2.3	15,000	14,652	2,389,399
		DEUTSCHLAND REP 2.5	2.5	12,000	10,597	1,728,163
イタリア	国債証券	BTPS 3.4	3.4	6,000	6,148	1,002,635
		BTPS 3.45	3.45	10,000	10,094	1,646,126
		BTPS 4.4	4.4	17,000	18,043	2,942,347
フランス	国債証券	FRANCE O.A.T. 1.5	1.5	5,000	3,052	497,746
		FRANCE O.A.T. 2.5	2.5	7,000	7,029	1,146,284
		FRANCE O.A.T. 2.75	2.75	9,000	9,039	1,474,072
		FRANCE O.A.T. 3	3.0	6,000	5,801	946,073
小 計					13,772,849	
イギリス			千イギリスポンド	千イギリスポンド		
国債証券	UK TSY GILT 3.25	3.25	8,000	7,320	1,427,315	2033/1/31
	UK TSY GILT 3.5	3.5	3,000	2,983	581,775	2025/10/22
	UK TSY GILT 3.75	3.75	8,000	6,164	1,201,903	2053/10/22
小 計					3,210,994	
オーストラリア			千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
国債証券	AUSTRALIAN GOVT. 3	3.0	15,000	13,572	1,287,439	2033/11/21
	AUSTRALIAN GOVT. 3.5	3.5	25,000	23,228	2,203,408	2034/12/21
小 計					3,490,848	
合 計					43,734,427	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(2025年3月25日現在)

## ○投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 45,170,742	% 97.3
コール・ローン等、その他	1,248,953	2.7
投資信託財産総額	46,419,695	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(44,256,699千円)の投資信託財産総額(46,419,695千円)に対する比率は95.3%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので、なお、邦貨換算レートは1米ドル=150.95円、1カナダドル=105.40円、1ユーロ=163.07円、1イギリスポンド=194.98円、1オーストラリアドル=94.86円です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年3月25日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	円 46,419,695,273
コール・ローン等	726,463,473
公社債(評価額)	45,170,742,841
未収利息	423,370,513
前払費用	99,118,446
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A-B)	46,419,695,273
元本	19,571,615,994
次期繰越損益金	26,848,079,279
(D) 受益権総口数	19,571,615,994口
1万口当たり基準価額(C/D)	23,718円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、2,3718円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は22,417,185,041円、期中追加設定元本額は33,444,864円、期中一部解約元本額は2,879,013,911円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下通りです。

ワールド・ソブリンインカム（愛称 十二単衣）

18,791,834,765円

Wソブリン毎月分配型（一般投資家私募、適格機関投資家転売制限付）

462,342,570円

ワールド・ソブリンインカム（1年決算型）

165,089,057円

ソブリンオープン（適格機関投資家専用）

103,888,983円

D Cワールド・ソブリンインカム

48,460,619円

## ○損益の状況 (2024年3月26日～2025年3月25日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	円 1,625,615,026
受取利息	1,625,615,026
(B) 有価証券売買損益	△ 673,787,342
売買益	1,138,839,804
売買損	△ 1,812,627,146
(C) その他費用等	△ 5,375,301
(D) 当期損益金(A+B+C)	946,452,383
(E) 前期繰越損益金	29,819,556,558
(F) 追加信託差損益金	46,051,889
(G) 解約差損益金	△ 3,963,981,551
(H) 計(D+E+F+G)	26,848,079,279
次期繰越損益金(H)	26,848,079,279

(注) 損益の状況の中(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

該当事項はございません。

## 〈お知らせ〉